

令和7年度 第3回 福知山市上下水道事業経営審議会

日時：令和7年11月18日（火） 午後3時から午後4時30分
場所：福知山市上下水道部庁舎 3階 301会議室

[委 員]	井上直樹	会長・福知山公立大学地域経営学部 学部長
(敬称略)	越後信哉	副会長・京都大学大学院地球環境学堂 教授
	松本清香	公募委員（欠席）
	中井政夫	公募委員
	桐村信太郎	福知山商工会議所 中小企業相談所 所長（欠席）
	衣川浩行	福知山市商工会 事務局長
	嵯峨根正和	一般社団法人長田野工業センター 専務理事
	谷垣 均	福知山市自治会長運営委員連絡協議会 駅前町自治会長
	森田雅子	福知山市連合婦人会 会長
	碇 正登	京都府建設交通部水道政策課 課長（欠席）
	工藤 真	京都府建設交通部下水道政策課 課長
[上下水道部]	神内明宏	福知山市上下水道事業管理者職務代理者（上下水道部長）
	松井美幸	経営総務課長
	井上義信	上下水道部次長兼水道課長
	山本英典	上下水道部次長兼下水道課長
[事 務 局]	志賀 亘	経営総務課課長補佐兼経理係長
	山崎志帆	経営総務課経理係主任
	櫻尾篤士	経営総務課経理係主任
	西村さつき	経営総務課経理係主査
	荒川沙更	経営総務課経理係主事

○開会及び開会あいさつ

会 長 福知山市上下水道事業経営審議会規程第5条第2項の規定のとおり、委員の皆様の過半数のご出席を賜っておりますので、ただいまから令和7年度第3回福知山市上下水道事業経営審議会を開催させていただきます。

それでは、次第に沿って議題を進めさせていただきます。はじめ

に、令和 6 年度水道事業・下水道事業会計決算について、経営戦略との比較を踏まえて報告をしていただきます。委員の皆様におかれましては、報告を受けた後にご意見を頂戴したいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

○令和 6 年度水道事業・下水道事業会計決算について

～事務局 報告～

会長 ありがとうございました。それでは、先ほどの水道事業、下水道事業の決算につきまして、委員の皆様からご意見等をいただければと思います。

委員 水道と下水道の両方について、令和 7 年度以降、引き続き料金収入等の減少や物価高の影響等が想定されるとあるのですけれど、これはどうなることが想定されるのでしょうか。

事務局 物価高騰や人件費の上昇に伴い、業務委託料などの費用が増加する一方、人口減少に伴いまして収入は減っていくことが考えられますので、年々収支は悪化していくだろうと想定しております。

委員 令和 6 年度は黒字決算だったが、来年度以降も引き続き料金収入等の減少や物価高の影響が見込まれるというのは、具体的にどれぐらい純利益が減るのか、見通しも含めて説明いただけるとよいのですが。例えば、令和 7 年度の見込みで何%ぐらい純利益が減るのか、その辺が分かると、10 年後はどうなっているのかといった話も皆さんイメージしやすいのかと思いますが。

事務局 令和 7 年度については年度途中でありますのではっきりとした決算見込みは申し上げられませんが、予算ベースでは水道事業で約 2,000 万円の赤字を見込んでおります。

委員 令和 6 年度の下水道使用量について、家事用の使用水量が減少したことにより減少したとありますが、これはどういう状況なのでしょうか。

事務局 人口が減少したことに伴い、生活排水が減少したということです。減少量については資料に記載のとおりです。

委員 令和6年度決算書について、水道事業報告書の項目にある料金回収率を見ていますと、1年ごとに値が上下しており、98%取れるときもあれば、92%程度のときもある。これは何か理由があるのでしょうか。

事務局 料金回収率といいますのは、給水にかかる費用がどの程度料金収入で賄われているかを示す指標でございまして、100%に満たない状況から健全経営を維持するための料金収入が確保されていないと言えます。平成29年度の料金改定以降、回収率は90%台を維持しているものの、令和6年度は分母である給水原価が増加したことにより、数値が減少しているものです。

会長 他にご質問がないということでよろしいでしょうか。
では次の議題に進ませていただきます。次は、令和7年度の下水道事業の状況報告についてでございます。こちらについては、令和3年度から、施設更新に伴い建設工事を開始した汚泥有効利用施設が本年度末で工事完了を見込んでおりまして、令和8年4月から運用を委託する特別目的会社のもと、稼働を開始する予定としております。これまでの取り組みの経過、それから運用開始により期待される効果につきまして、ご報告をいただきますとともに、本年1月に発生しました埼玉県八潮市の道路陥没事故を受け、国土交通省から全国の自治体を対象に要請されました下水道管の全国特別重点調査につきまして、本市の調査結果をご報告していただきます。
それではよろしくお願いします。

○令和7年度下水道事業 状況報告について

～事務局 報告～

会長 ありがとうございます。ただいま汚泥有効利用施設と下水道管の特別重点調査についてご説明いただいたところですが、これらにつきまして、ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

委 員 汚泥処理施設再構築事業の維持管理運営について、令和7年10月にS P C設立とありますが、このS P Cの名前と構成員の会社名を教えていただけますでしょうか。

事 務 局 10月16日に設立された特別目的会社の社名は、福知山グリーンエナジー株式会社です。構成員につきましては、基本協定を結んでいます事業者になっており、代表構成員が神鋼環境ソリューション、構成員が神鋼環境メンテナンス、この2社が構成員になっております。

委 員 地元の事業者の方とかそういうところは入っておられませんか。

事 務 局 構成員としては入られませんが、維持管理において再委託先に地元企業を使っていくというのは、要求水準書に定めています。

委 員 平成27年度の法律改正後で、汚泥の処理はS P Cを設立して行うというやり方が他市でも一般的なのですか。

事 務 局 先進地へ視察にも行きましたが、特別目的会社設立される例もあります。

委 員 検討段階で固形燃料化と肥料化の2種類の提案があがっていて、固形燃料化が採択されたのは、何か特段の理由があれば教えてください。

事 務 局 提案としては固形燃料化と肥料化の両方があり、価格のほか、技術点について項目があり、維持管理の仕方、地元企業への関わり方、環境への配慮といったところで点数づけを行い、総合的に判断して、固形燃料化を提案された企業が落札されました。技術点の中で、一概にここがポイントだということはなかったと記憶しております。

委 員 結果としてその影響があったかどうかもわからないのですが、今、汚泥の肥料としての再利用についてはP F A Sの問題があって、難しい面もあります。当時それを想定されたとは思わないのですけれど、結果としては固形燃料化を採用されてよかったですかなと思います。

委 員 維持管理の運営について、事業費が令和7年度から令和27年度

まで 21 年間債務負担で合計 69 億円ということは、年間 3 億ぐらいの維持費だろうと思うのですが、固形燃料の生成が一日 2.7 t ということで、これがどれくらいの収益があって、費用を賄うことができるものなのか、概算が分かれば教えてください。

事務局 年間 900 t ぐらい生成量を見込んでおりまして、売買価格は単価を見積もりしないと分からぬのですが、仮に 1 tあたり 100 円で受けさせていただければ、年間で 10 万円程度の収益となります。

単価については、まだ正確に分かっておりませんので、あくまで仮に 100 円と想定した場合ということで、ご理解いただければと思います。

委員 どれくらいの収益になるかは分かりませんが、今後の決算にこの分の費用負担の増加が表れてくるということですね。

委員 既設の設備を撤去するという説明でしたので、新しい建物を建てる場所にあった設備は撤去されたのかと思ったのですが、し尿投入施設や特定環境保全公共下水道の機械脱水装置などの、新設の施設の場所以外で用途廃止となる施設も全部撤去されるのでしょうか。

事務局 撤去したと説明しましたのは、1 世代前の汚泥処理施設とその周辺の関連施設だけでして、ここに跡地利用として新たな建物を建てており、現状の処理で使っている機械装置については撤去しておりません。

委員 例えば、し尿投入施設などは汚泥有効利用施設ができれば使わなくなるのですよね。これは将来的には撤去していくことになるのですか。

事務局 し尿投入施設については他部署とも関連する施設ですので、今後の運用については調整の必要がありますが、下水道課単独で管理しております処理施設につきましては、今後、今回整備した汚泥有効利用施設のような更新計画が立ち上がってきたときに、撤去や跡地利用の検討を行っていく構想としております。

委員 施設がまだ残っていて、老朽化等の問題がなく使えるのであれば、緊急時にし尿等を一時的に貯めておく設備として備えておくというのもありかなと思いました。

もう一つ、先ほど再構築事業の効果や、汚泥の処理工程の中でできた固形燃料の収益の話もされていましたが、脱炭素化やリサイクル率 100%になるというのはすばらしい効果だなと思って聞いていました。それ以外にもこの施設ができることによって、今まで埋め立て処分にかかっていたコストがなくなるなど、経済的な効果が必ずあると思いますので、そういうところも、資料には記載ありませんが、アピールしたほうがいいのかなと思いました。

要は、固形燃料は最悪 0 円で売れても効果はあるということですので、事業説明をされる際はコスト削減的な面も謳われるのがいいのかなと思います。

それに加えて、汚泥はどうしてもネガティブなイメージがあるかと思うのですが、それをこうやってリサイクルしているのは、とてもいい取り組みだと思うので、本格稼働し始めたら、積極的に P R していくのもぜひ考えていただければと思っています。

委 員 下水道だけでなく上水道にも関係あるかと思うのですが、例えば水道管が破裂した、何か亀裂が入っているとなったときに、ある市町村では、1 つ原因を探るのに図面を 1 から探す必要があり、それに結構な時間がかかったという話を聞きました。

例えば図面の配管などを全部デジタル化で一元管理ができるのか、福知山市の現状を教えてください。

事 務 局 まず水道の管路施設等の情報管理についてですが、以前からシステム化しております、配管の道路に入っている位置や、当時の工事図面、その他細かな情報までデジタル化しまして、すぐにその情報が読み取れる状態にはしております。一部の古い管路で位置はわかるが年代がわからない、工事の情報がないというものもありますが、ほとんどは状態がわかるように現在管理しております。

事 務 局 下水道の方も水道と同じく、市内の地図上に、下水道管の位置、マンホールの位置、それから各家から取り込んでいる公共樹の位置を電子化した台帳がございます。その台帳には下水道管の大きさや管までの深さといった情報を示しています。

会 長 他にないようでしたら、次の議題に移らせていただきます。次は手数料の見直しに係る答申についてです。前回の会議で、当審議会に対

し詰問いただきました手数料の見直しについて、委員の皆様のご一任をいただいて、私が先月 10 月 28 日に答申を行いました。その際の概要と今後の流れにつきまして、事務局よりご報告をいただきたいと思います。お願ひします。

○ 「手数料の見直し」に係る答申について

～事務局 報告～

会長 ありがとうございます。前回の審議会でも意見のあった、広報手段を効率的・有効的に活用しながら市民の皆様のご理解をいただくという点は付帯意見として書かせていただいておりまして、それを踏まえて、きちんと答申をさせていただいたところでございます。今後のスケジュールも含めてお話いただきましたけれども、これにつきまして、皆様のご意見、ご質問等ございましたらお願ひいたします。

特にご意見ないようですので、本日の議題は以上とさしていただきます。閉会にあたりまして、越後副会長より一言ご挨拶をいただきたいと思います。

副会長 長時間にわたり、ご説明ご議論お疲れ様でした。

まずは、決算が無事終わってご報告いただいたということで、昨年度の上下水道事業が無事終わってよかったですなと思っているのですが、下水道管の事故の話もそうですし、今日説明のあった汚泥の 100% リサイクル、脱炭素化に関わることのように、その時々に応じて、上下水道に求められている要件や課題というものは変わっていっているのだと思います。もちろんそれはベースには、人口減少社会というのがあって、まず上下水道って何となく完成された仕組み、技術のように思ったりもするのですが、決してそうではなくて、より社会に合ったやり方を考えていかないといけないかなと、今日いくつかのお話を伺う中で強く思いました。

この審議会もそういった中で、微力ではありますが、上下水道のプロの方とお話するわけですけれども、市民の皆さんからいろいろ意見も伺って、いい対話の場に今後もしていけたらなと思います。

会長 ありがとうございました。本年度の経営審議会につきましては、今

回で終了となります。次回の開催案内でございますが、我々委員の任期が令和 8 年 3 月 31 日までとなっているため、委員交代の可能性もございますが、現時点では令和 8 年 4 月中旬の開催を予定しております。ご承知おきください。

それでは令和 7 年度第 3 回福知山市上下水道事業経営審議会を終了いたします。委員の皆様、本日は、そして今年度どうもありがとうございました。